かながわＣ☺－ネット通信　Ｎｏ．７５

神奈川県協同組合連絡協議会
かながわＣｏ－ネット 会員組織　御中

２０２１年５月１３日

ＪＡあつぎ緊急時の食を守る！
県産米の備蓄用おかゆ寄贈！

ＪＡあつぎは近年増加傾向にある自然災害などの緊急時用の保存食として、「災害備蓄用おかゆ」の販売を開始し、1,000 袋を厚木市に寄贈しました。

自然災害時の市民の食料として活用してもらい、地域農業の維持・発展と米生産者の安定した所得の向上に向けて開発。かながわブランドに登録されている「あつぎせせらぎ米」を使っています。

ＪＡあつぎの大貫組合長は「災害時に地域の食を支援することはＪＡの大きな役割。今後も、災害時の防災のうちとしても機能する田畑を守り、災害備蓄用おかゆを推進していきたい」と語っています。

災害用備蓄用おかゆは１袋 300 円。ＪＡ農産物直売所「夢未市」と「グリーンセンター」で販売。常温・未開封の状態で５年間保存ができます。

小林市長(右)に災害備蓄米を寄贈する大貫組合長(左)

・JA あつぎファーマーズマーケット「夢未市」：
https://www.ja-atsugi.or.jp/yumemiichi/

・JA あつぎグリーンセンター：
https://www.ja-atsugi.or.jp/store/greencenter.php

QR コードは
それぞれこちら

ＪＡ相模原市でのフードドライブ活動
どんどん地域に広がる！

ＪＡ相模原市では、これまでも直売部会や女性会など、各組織でのフードドライブ活動を行ってきました。機運の高まりを受け、３月下旬からは相模原市中央区の本店にフードドライブコーナーを常設したところ、「必要な人に届けて欲しい」など多くの反響があり、現在は各支店組合員から連日、食品や日用品の寄付が寄せられるようになりました。

また、４月中旬には養鶏業を営む「おがわのたまご」が鶏卵 50 キロ、約 1,000 個を寄贈。ＪＡを通じ「フードコミュニティ」へ引き渡しました。翌日、困窮学生やひとり親世帯などに配布されました。

おがわのたまごの小川代表は「養鶏業を続けることは地域の人の理解や応援が欠かせないもの。地域への恩返しの心も込め寄付を決めた。栄養満点の地場産の卵を食べてコロナ禍を乗り切ってほしい」と話しました。

2021年の国際協同組合デーのテーマが決定！
「協同組合は、力を合わせて、コロナ後の社会の再建に貢献します」

2021年国際協同組合デーロゴ

世界の協同組合が協同組合運動の発展を祝い、さらなる前進を誓い合う日である「国際協同組合デー」は毎年7月第1土曜日です。第99回となる今年の国際協同組合デーは7月3日（土）となります。

国際協同組合同盟（ICA）より、2021年国際協同組合デーのテーマは「協同組合は、力を合わせて、コロナ後の社会の再建に貢献します（Rebuild Better Together）」と発表されました。

ICAは次のように述べています。

「世界中の協同組合が、コロナ禍の危機にいかに連帯と強靭さ をもって立ち向かい、地域社会に、人を中心に置いた、環境にやさしい回復をもたらしているかを示すだろう」

「世界中の10億人を超える協同組合の組合員は、誰もこのような危機に一人だけで直面する必要はないということを示し続けている」

「国際協同組合デーは、自助・連帯という 協同組合の価値、社会的責任や地域社会への配慮という倫理的価値に支えられた協同組合が、いかに不平等を是正し、繁栄を共有し、新型コロナウイルスの直接の影響に対応することができるかを伝える機会となる」

今年の国際協同組合デーをともに祝い、コロナ後の社会の再建に貢献する協同組合の力を世界に示しましょう。

農協観光神奈川支店
外出自粛期間でも楽しめるグルメセット販売！

新型コロナウイルス感染症の影響で旅行業界が打撃を受ける中、かながわＣｏ－ネット会員組織であり、ＪＡグループの旅行事業を担う「農協観光神奈川支店」もこの１年工夫を凝らし、事業を行ってきました。

そのような取り組みの一つとして、コロナ禍で自宅で過ごす時間が多い中、外出自粛期間中でも楽しめるグルメセット「お家に居ながら旅行気分シリーズ」の販売を始めました。

ラインナップその①
ローストビーフ鎌倉山

ラインナップその②
八ヶ岳チーズケーキ工房

ラインナップには各地の名産品が勢揃い。ご自宅で旅行気分を味わうことができます。

ご注文は別紙よりお願いします。ご質問・ご不明な点につきましては、農協観光神奈川支店へ直接お問い合わせください。

参加募集

イベント・セミナー等のご案内

☆ユーコープ主催・ＪＡかながわ西湘協力！
食 DE 健康、コープで体験・学ぶ会、ヤマのがっこう in 小田原、「小田原の梅の収穫と梅ジャムづくり」☆

生活協同組合ユーコープかながわ県本部は、2021 年６月 12 日（土）に、ＪＡかながわ西湘協力のもと小田原市下曽我で梅の収穫と梅ジャムづくり体験イベントを開催します。

当イベントは毎年開催され、例年多くの応募のある人気イベントとなっています。

今回はコロナウイルス感染症予防対策の観点から梅ジャムづくりの開催が難しいため、現地で行うものは梅のもぎ取り体験だけとし、自分が収穫した梅を使って自宅でジャムづくりができるよう梅ジャムレシピ（調理動画の二次元コード付き）を参加者に配布します。

組合員に限らずどなたでも参加できますのでご興味のある方はぜひご参加ください。下記のユーコープホームページ URL からお申込みができます（当通信送付時点ではホームページ上に掲載されておりませんが、後日追加予定ですので反映までお待ちください）。

主　催：生活協同組合ユーコープかながわ県本部
日　時：2021 年６月 12 日（土）　Ａグループ：10:00～10:45
　　Ｂグループ：11:15～12:00
会　場：小田原市下曽我の梅生産者の畑（集合場所：みのり館駐車場）
詳　細：別紙参照願います。下記 URL および QR コードより直接お申込みください。
ユーコープホームページ URL：https://www.ucoop.or.jp/hiroba/

ユーコープは今回のイベント以外にも、これまでにＪＡと連携した形の食に関するイベント（ＪＡさがみと連携したトマト収穫イベント等）を行っています。

連携イベントが行われる際は今後も当通信でお知らせいたします。

☆協同総合研究所主催　第５回社会的連帯経済×協同労働研究会☆

協同総合研究所は、2021 年５月 22 日（土）に、オンラインによる研究会を開催します。

「社会的連帯経済×協同労働」研究会は、２つの問題意識があり開催されています。

ひとつ目は、日本で社会的連帯経済を実装するために、どのような戦略が必要かを明らかにすることです。

ふたつ目は、働く人・関わる人が協同の力で自己決定する「協同労働」の働き方を、社会的連帯経済に関係する思想や実践と掛け合わせることで生まれてくるものについて考えることです。

５回目となる今回は、資本主義経済の閉塞感が危機的となるなかで、消費社会を超えて、持続可能な社会を構想するための脱成長理論と地域づくりの視点を早稲田大学地域・地域間研究機構次席研究員の中野佳裕さんからご報告いただきます。

ご興味のある方はぜひご参加ください。下記 URL からお申込みができます。

主　催：協同総合研究所
日　時：2021 年５月 22 日（土）　13:00～17:00
会　場：オンライン開催（無料）
詳　細：別紙参照願います。
申し込み URL：https://forms.gle/ddHYCpCFYrRn3tsX7

➢新型コロナウイルス感染症による社会への影響が続いています。会員組織での困り事をはじめ、告知を希望する行事、提携事例等がありましたら下記までご連絡下さい。

＜担当事務局連絡先＞
ＪＡ神奈川県中央会ＪＡ改革対策部(担当：山本･丸岡)TEL 045-680-3002　jakaikaku@chu.kn-ja.or.jp
神奈川県生活協同組合連合会（担当：相田）TEL 045-473-1031　Yuji.Aida@ucoop.or.jp